

**原子力システム研究開発事業
事後評価総合所見**

<p>研究課題名：革新的ナトリウム冷却高速炉におけるマルチレベル・マルチシナリオプラントシミュレーションシステム技術の研究開発</p> <p>研究代表者（研究機関名）：大島 宏之（日本原子力研究開発機構）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：古賀 信吉（広島大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：出口 祥啓（徳島大学）</p> <p>研究期間及び研究費：平成28年度～令和元年度（4年計画） 365百万円</p>					
項 目	要 約				
1. 研究の概要	<p>高い安全性と経済性を両立させる設計最適化・革新技術開発を支える安全基盤技術として、マルチレベル・マルチシナリオシミュレーションシステムの構築ならびに、ナトリウム冷却高速炉に特有で安全上重要となるナトリウム燃焼およびナトリウムと構造物コンクリートとの反応性に関する基礎的なコードV&Vのための実験データベースの構築を行うことを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) マルチレベルシミュレーションシステム開発 2) シビアアクシデントマルチシナリオシミュレーションシステム開発 3) コードV&Vのための実験データベース構築 				
2. 総合評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50px;">A</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の安全対策の経験則による部分を、精緻に評価可能なマルチシミュレーションシステムの基盤を構築したことは評価できる。 ・データベースの充実と構築モジュールの追加により、SMRなどへの展開も可能と考える。 ・実験データの取得においては、どのようなデータが必要となるか、指針を示した上でデータを取得するとより良かったと考える。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ol style="list-style-type: none"> S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない </td> </tr> </table>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の安全対策の経験則による部分を、精緻に評価可能なマルチシミュレーションシステムの基盤を構築したことは評価できる。 ・データベースの充実と構築モジュールの追加により、SMRなどへの展開も可能と考える。 ・実験データの取得においては、どのようなデータが必要となるか、指針を示した上でデータを取得するとより良かったと考える。 		<ol style="list-style-type: none"> S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない
A	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の安全対策の経験則による部分を、精緻に評価可能なマルチシミュレーションシステムの基盤を構築したことは評価できる。 ・データベースの充実と構築モジュールの追加により、SMRなどへの展開も可能と考える。 ・実験データの取得においては、どのようなデータが必要となるか、指針を示した上でデータを取得するとより良かったと考える。 				
	<ol style="list-style-type: none"> S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない 				